

子どもの健診頻度は？

1年に1回は必ず受けましょう！

日本では、乳幼児健診が一般的で、3歳健診くらいまでしか受けないケースがほとんどです。しかし「予防医療」が前提のアメリカでは、その後の学童期も年に一度必ず小児科で健診を受けるというのが基本の考え方です。18歳まで子どもを毎年健診に連れていくことは、保護者の責任と考えられています。病気もしないし、体も大きくなっていくから大丈夫と思いがちですが、年に一度は小児科医によるチェックが必要です。

健診では何をみるの？

身長、体重、視力、聴力、貧血のアセスメント(総合的に判断すること)、メンタルヘルスのアセスメントなど、年齢に応じて健診項目が細かく規定されています。また、子どもにとっては、親御さんに相談できないことを医師に

相談できる機会でもありません。親御さんが「反抗期だから会話が少ないのかな」と思っていたら、実はお子さんが心の問題を抱えており、健診がきっかけでカウンセリングを受けるようになったということも多々あります。

健診に行かないと何か問題がある？

アメリカでは健診に行かないことで「ネグレクト」と疑われてしまう可能性があります。文化や習慣の違いもあり、子どもが学校で何気なく言った一言や、けがをしたことがきっかけで、虐待の可能性がないか調査が入ることが少なくありません。その際には主治医に連絡があり、健診の頻度や予防接種記録がチェックされます。健診を受けていないとメデイカルネグレクトを疑われてしまうこともあります。特に、引越直後では健診を受けるのを忘れてしまいがちになるので注意してください。

頼れる先生ナビ

松本尚子先生



日本で小児科医として勤務した後、研究のため渡米。アメリカでの結婚、出産を経て、現在、アメリカでも小児科医として活躍。三重大学医学部卒業。東京女子医大腎臓小児科助手、UCLAリサーチフェロー、オークランド小児病院研修医。

松本尚子小児科 Naoko Matsumoto M.D.

小児科

2017年にトーランスで開業。子どもの発熱や咳などの急な症状から、定期健診、予防接種まで取り扱う小児科の総合クリニック。新生児～18歳までを診察している。

☎ 310-483-7880

Web: matsumotomd.com

3440 Lomita Blvd., #242, Torrance

☎ 月～金 9:00am-5:00pm (完全予約制)

☎ 土日 ☎ 日本語・英語 ☎ 各種PPO取り扱い、海外旅行保険

保険について

通常の医療保険では、年に1回の健診(チェックアップ)はカバーされます。「海外旅行傷害保険」の場合は、健診はカバーされませんが、会社からかかった費用が支払われることもあります。健診前に、必ず保険のプランや会社に必要事項を確認するようにしてください。